

2018年7月11日

**au 損保より「STOP! 自転車ながらスマホ体験 VR」を大阪府に寄贈！**  
～「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づく協定による寄贈～

au 損害保険株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：遠藤 隆興、以下 au 損保）は、2018年7月4日(水)に、大阪府に対して「STOP! 自転車ながらスマホ体験 VR」（※1）を寄贈いたしました。

2016年3月30日（水）に、大阪府、株式会社あさひ（代表取締役社長：下田佳史、以下あさひ）との3者で、「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（以下自転車条例）に基づく協定を締結し、自転車条例を広く周知するとともに、

- ① 自転車利用に関する安全確保（ヘルメット着用）
- ② 自転車損害賠償保険への加入（自転車保険への加入義務）

のために、株式会社あさひ社において、大阪府内の「サイクルベースあさひ店舗」で自転車を購入された方を対象に、大阪府と連携して自転車安全利用の促進を行ってまいりました。

なお、「STOP! 自転車ながらスマホ体験 VR」は協定に基づき、大阪府民の皆さまが、あさひ・au 損保共同開発商品であるあさひオリジナル自転車保険「サイクルパートナー」（※2）にご加入された場合、引受保険会社の au 損保より保険料収益の一部を府民の交通安全啓発活動に活用したものです。



寄贈の様子（左：au 損保 田中部長 右：大阪府 部家課長補佐）



「STOP! 自転車ながらスマホ体験 VR」体験の様子

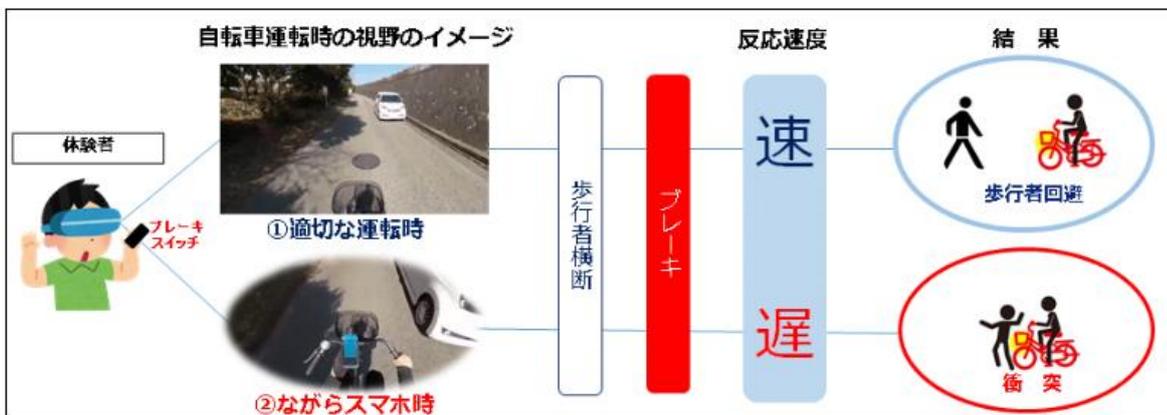
au 損保は今後も大阪府と連携して、両者で自転車向け保険の知識向上と加入促進に努めるとともに、条例の周知や自転車の交通安全対策を推進し、府内の自転車利用者のルール・マナーの向上による自転車事故の削減に取り組んでまいります。

以上

(※1)

KDDI 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠、以下 KDDI)、株式会社ナビタイムジャパン(本社：東京都港区、代表取締役社長：大西 啓介、以下 ナビタイム)、au 損害保険株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：遠藤 隆興、以下 au 損保)が、2018年3月20日より、自転車ながらスマホの撲滅、および高額賠償の備えに関する意識向上を図るため「自転車安全・安心プロジェクト第2弾」(以下「本プロジェクト」)として、「VR(バーチャルリアティー)」により、自転車ながらスマホの危険性を疑似体験できる「STOP! 自転車ながらスマホ体験 VR」を制作したものです。

利用者は、VRを通じて「自転車ながらスマホ」時と、通常の自転車運転時の視野や反応速度の比較を体験することができます。歩行者の飛び出しに対して、付属のリモコンでブレーキをかけ、ブレーキ反応速度の違いを確認することができ、ブレーキ反応速度が遅いと歩行者に衝突する画面が表示されます。



(※2)

「サイクルベースあさひ」店舗にてご案内いたします。寄付金付きの保険ですが、保険料は従来の「サイクルパートナー」と同一です。